

# 令和7年度 岐阜県立国際たくみアカデミー活性化検討会

## 議事要旨

### 1 開催日時及び場所

令和8年2月17日（木）14時00分～15時30分  
国際たくみアカデミー短大校 会議室

### 2 出席委員

靱山泰秀座長、山内京子委員、石黒時紀委員、荒川晶一委員、牧野泰蔵委員、加藤正光委員、堀秀樹委員、山田智也委員、林博行委員、柴田美登里委員

### 3 事務局

商工労働部次長、労働雇用課長、国際たくみアカデミー校長

### 4 会議の概要

あいさつ、資料説明、意見交換

### 5 主な意見等

○令和7年度の実績と各科の課題及び進捗状況について  
特に意見なし

○国際たくみアカデミーの課題について

#### 1. 学生生徒募集について

- ・子供の時から仕事の理解が必要と考える。ホームページに、フローチャートのようなものを入れて、どの学科を見るべきか誘導するとい
- ・ホームページについては、国際たくみアカデミーはどんな学校か、はじめに明確に示した方がいい。
- ・ホームページでは、仕事のやりがいや魅力を伝えることができればいい。将来が想像できるよう、1日の仕事のスケジュールがわかるようにしたらいいと思う。修了生の声の部分で作業中の写真がないため、掲載をした方がいい。
- ・最近の若い方を意識し、SNSなどを活用して学校の内容や魅力を伝えて、募集につながるようにするとい
- ・美濃加茂市としては、小中学校の方や市民の方に職業を体験できる機会を、たくみアカデミーと一緒に行っていきたい。
- ・ホームページ映像で動画がポイントと考えている。美濃加茂市職員の1日の日常生活を配信したところ、この動画を多くの方に見ていただけた。こちらの方が、反響

が大きい。

- ・テレビ等も活用してはどうか。職人を育てるのは本当に難しい。たまたまテレビを見て、富山県の寿司職人を養成する学校のCMをしていた。

## 2. 多様化する訓練生の教育について

- ・業界としては、全面的に支援を惜しまず、バックアップをしていきたい。もっと業界にも協力を求めて欲しい。
- ・零細企業では、臨床心理士を配置することが困難。しかし、若年従業員へのコミュニケーションの機会を増やす努力はしている。
- ・まずは、ハローワークに御相談していただければと思う。訓練生の親を含めて面談をすることもできる。サークル活動もできる「若者サポートステーション」等の機関をうまく活用して欲しいと思う。
- ・多様化する建設現場の作業員の教育について、コミュニケーションが大切。安全第一の観点から、現場へ作業員を入れるにも、最低限の安全のルールを理解していただく必要がある。